

恵庭市総合計画審議会第3回専門部会

(産業・観光・まちづくり部会) 議事録 (要旨)

日時	令和7年5月30日(金) 14:00~16:00
場所	恵庭市役所 301 会議室
出席者	小林 祐一 委員(公募)
	熊野 稔 委員(公募)
	島田 圭一 委員(恵庭観光協会)
議事	・審議事項
	・第6期総合計画の基本構想(素案)について
	(1) 基本目標5について
	(2) 基本目標6について

流れ	内容
開会	●企画振興部次長 開会のあいさつ
素案審議	●部会長 本日も2時間を目途に会議を行いたいと思います。進捗について事務局から説明をお願いします。 ●事務局 こちらの専門部会と並行するような形で議会の特別委員会を開催し、そちらでも意見をいただいているところです。この審議会の専門部会と議会からの意見等を踏まえ、当初お示しいたしました基本構想の修正案を作成していきたいと考えております。 ●部会長 わかりました。基本項目5について前回会議では、宴会場が少ないといったことが議論されました。道の駅のマリオットホテルは食事の提供がなく、周りにも飲食店が少ないことから、作ってはどうかという意見もあると思います。A委員いかがでしょうか。 ●A委員 マリオットは、インバウンド観光客をターゲットに全国展開していて、道の駅で消費してもらえるように、食事を提供していません。料金は1万5、

素案審議	6,000 円から 2 万円で、ターゲットはインバウンドですが、今後増えないと運営も厳しくなると思います。定着してもらいたいで、地元客も泊まれるようになればいいと思っています。
	●部会長 もし食事する場所がないとなったときは、千歳、札幌に宿泊することになってしまいますよね。恵庭は観光した後に泊まって、食べて、のんびりできない感じですよ。
	●企画振興部次長 市でも課題として捉えており、宿泊客に対して市内飲食店に行くタクシーチケットを出し、市内で飲食してもらい取り組みをしています。このようなことが取組の方向性の 3 番目「観光客が市内で消費・飲食・宿泊してもらい取組による地域経済の活性化の推進」になります。この文言、内容でよろしいでしょうか。
	●A 委員 飲食店については、栄恵町もマンションが建ち、店が少なくなっています。そして店も、アルバイトが少ないので満席になる前に断っている。また、恵み野、島松では飲食店が少なく、特に島松にはほとんどありません。また、大きな宴会場がないため、各団体、各市民の会が開催できずに困っています。そのため、千歳に行っている人が多いようです。それをどうしていくのかは難しいところで、民間、市、商工会議所と一緒に話し合っていかなければいけないと思っています。 また、タクシーがないため、二次会に行かず、一次会で帰るような状況になっているようです。タクシー会社に電話しても、コンピューター音声で、直接話をするができない状況のようです。それに対して、エコバスの活用を考えられていると思いますが、時間帯が一致しないといったことがあるのかもしれない。
	●副部会長 以前、ライドシェアの意見がありましたが、可能性はどうでしょうか。検討課題はありますが、あったらいいと思います。
	●A 委員 ライドシェアは許可が必要で、時間帯などの規約もあり、難しいようです。他市ではタクシー会社がライドシェアの登録をしているようですが、実際にライドシェアを使うまでに至っていないようです。他にもいろいろな規約があり、しばらく時間がかかると思います。
	●事務局 市民意識調査の自由意見の中では、タクシーが来ないので栄恵町、飲み屋

素案審議	街に行くのを諦めたという切実な意見もありました。喫緊の課題として捉えておりまして、議会からもライドシェアの検討を、ということで行政に来ていますが、様々な課題があります。 これまで話してきたとおり、労働力の問題として高齢化が進んでる、担い手不足というのも改めて課題であり、今後 10 年もその課題は続いていくと思います。 その中で取組の方向性として、基本目標 5 の「観光客が市内で消費・飲食・宿泊してもらう取組による地域経済の活性化の推進」を挙げています。実際に取り組んでいる内容として、市内消費拡大事業費の「はなたびタクシー事業」という、マリオットでのタクシーチケットの配布などといった対応をしております。 ●企画振興部次長 付随して、本部会の対象ではありませんが、基本目標 2 の目指すまちの姿で「利便性が高く、市民が外出しやすい地域交通が充実したまち」を課題として捉えています。 ●部会長 行政が民間を動かすことも大事だと思います。市民提案制度の創設という記事を新聞で見ました。 ●事務局 これまでも民間からの提案制度はありましたが、提案がなかったのも、市民提案制度に切り替えていくような形だと思います。 ●部会長 なぜ手を挙げる企業がなかったのでしょうか。 ●企画振興部次長 民間から提案してもらったものを施策に活かすプロポーザルは実施しています。また、複合施設の建設や運営など、実施しているものもあります。 ●事務局 現在、土屋ホームさんから提案いただいて、市営住宅を建設中です。民間と連携はしていますが、民間から直接的な課題に対しての提案は来ていないように感じます。 ●A 委員 観光という部門で考えれば、泊まる施設、消費するところが少ないですよ。ね。そのときに、そういう店をどのような方法で誘致するのかということは、行政だけではなく、商工会議所、民間企業と連携すれば、数年後に増えていくと思います。
------	--

素案審議	●事務局 例えばこれまでの 10 年間で道の駅に、スターバックスコーヒーさんと市内で元々営業していたおむすび屋さんができ、経営が続けられているので、決して民間から手挙げをしてもらって、できてないという状況でもないの で、これからもそういった手法が必要であると感じてます。
	●副部会長 防災道の駅の指定を目指すのはどうでしょうか。今まで防災道の駅は全国で 39 駅でしたが、この 5 月に 40 増えて 79 駅になりました。北海道では奈井江が指定されています。防災性能が高くなるし、どんどん宣伝してくれ ます。恵庭の道の駅はあれだけ広いので、万が一のときにはテントを張って避難 できますよね。
	●事務局 道の駅の場所は都市計画で言うと公園の位置づけになってるので、パーク PFI という手法を用いて、マリオットホテルができています。これも民間か らの提案で来てもらった形になります。
	●A委員 千歳の方は結構ホテルが建っていますよね。恵庭にホテルが来ないという のは、建てる土地がないからというのもあるのでしょうか。
	●事務局 恵庭駅の周辺は、建物の高さや敷地建ぺい率の制限があり、それでなかなか 来ないというところは要素としてはあると思います。
	●副部会長 駅から北海道文教大学の通りは、裏側に店舗があるのでもったいないです よね。店舗があるところを歩いた方が気持ちいいですよね。
	●A委員 恵み野駅前は少しもったいないですよ。もう少し店が入ってもいいとい う気がするし、イトーヨーカドーがなくなったのが一番大きく、土地がその ままになっているのも、もったいないです。
	●副部会長 恵庭市はまちづくりで先進しているところがあり、官民連携、パーク PFI などは北海道では先進で、札幌でやっていないこともやっていることがあります。 ガーデンツーリズム、花のまちともあわせて官民連携のまちづくりの 視察観光、全国の行政関係者、大学関係、コンサルタントに、札幌に行く途 中に寄ってもらおうといったことも大事だと思います。 今後、官民連携で柏陽複合施設ができるということで、そういったところ に恵庭しかないようなものをつくると、またそこも視察場所になるというこ

素案審議	とになると思います。 ごみ処理の関係で全国的に注目を集めているのは、香川県の三豊市です。普通の燃やせるごみを置いて乾燥させて燃料します。それを企業とセットでやっているの、億単位のお金が行政に入ってきます。CO2 排出量も少なくなります。いま三豊市はごみ処理の関係で脚光を浴びています。
	●部会長 既に売却され、企業の建設予定があるということでしょうか。雇用を創出するには、そこに企業が工場などを建設しないと雇用は生まれません。今後の 10 年間でどのような見通しですか。
	●事務局 恵庭に寄ってはくれると思いますが、宿泊につながるかと言ったら、札幌、千歳がありますので、そこで宿泊者を取られていくというのはあるかと思います。距離が近すぎるという、離れていないからこそ、そこが代替手段として可能になってしまうんですね。地の利がいい逆転の部分なんですよね。そこで宿泊者がとられていく部分があって、その結果として恵庭には立地ができない。逆に離れてしまった方が宿泊施設ができるでしょうね。
	●副部会長 自衛隊について、全く今までにない発想だと思いますが、他市から移住された方は大砲の音に驚かれると思いますが、自衛隊演習観光は難しいものではないでしょうか。演習を見させていただく。また、自衛隊施設見学は秘密の部分もあり難しいでしょうか。
	●企画振興部次長 1 年に 1 回記念行事を行っています。演習地そのものの公開は今はやっていません。
	●A 委員 青年会議所では訓練の一般公開を見に行ったことがあります。 自衛隊にも人が入らないという状況ですね。若い人を募集するのが大変なようです。そのような状況であればお話にあった、公開などをすれば募集する人が増えるかもしれません。若い人が結構やめているようですね。
	●企画振興部次長 恵庭市も重要な課題として捉え、基本目標の 2-6「自衛隊との共存」を入れています。恵庭市にとって自衛隊の基地があることによって、防衛の交付金を財源として活用することができています。
	●事務局 本日ごみゼロクリーンウォーキングというイベントが行われていますが、

素案審議	自衛隊の方が来られ、地域活動を盛んに行っていただいている面からも、基本目標2になりますが、目指すまちの姿と取組の方向性に、自衛隊関連の項目を入れています。
	●企画振興部次長 地域活動、スポーツ活動を行っていただいております、隊員の方の力は大きいと感じています。また、数年に一度の防災訓練では自衛隊の方も一緒にやっています。
	●副部会長 今は人手不足で、大学の就職部にインターンシップに来ませんか、といった連絡が来ています。自衛隊を進路希望の一つに考えてほしいようです。大学ではインターンシップを単位に認定する選択科目になったりしています。
	●A委員 この辺の高校生はほとんど進学するようで、就職する人は少ないようです。私の会社にもなかなか人が入ってきません。
	●副部会長 公営住宅について、北海道文教大学と包括連携をとらせていただいておりますが、学生に低料金で入らせていただいた、非常にありがたく思っています。卒業した学生も恵庭市にいい就職場所があり、就職後も公営住宅に入れば、ずっと居てくれる可能性がありますよね。卒業すると恵庭市から出て行く人が多いようです。
	●A委員 1DKで安く5万円、土地も上がっていますが、住むところも上がっている状況なので、安く入れるようにし、恵庭市に残す。そうすることで働く人も増えてくると思います。マンションがびっちり空きがないという話も出ていました。あっても高すぎると。その辺の緩和ができればもという方向に進むのではと思います。
	●企画振興部次長 学生さんも、アパートに住みたくてもないと困っている方がいらっしゃると思います。恵庭市は以前、入居率が80%中盤でしたが、いまでは90%と満室状態のようです。
	●A委員 学生さんが通わないで恵庭のまちに住むというのは、すごくいいことですよ。
	●副部会長 アルバイトをしているので、労働力にもなっています。 恵庭市は人口7万人規模のまちとしては、官学連携のまちづくりとして、

素案審議	全国でトップクラスになっているのではないかと思います。例えば公営住宅にしても借り上げ型市営住宅もやっているし、今度新しくできる「恵庭のMORI」は木造建築で、これも新しいと思います。そういうようなことで、結構視察の素材があると思います。視察ツーリズムというのも一つのこれからの観光交流の流れになるのではないかと。文化の薫りも非常にします。 ●部会長 いまお話いただいた部分は、基本目標 6「機能的な都市空間を形成し 利便性が高く快適に暮らせるまち」、学生さんが中心になって定住していただいて、定職につけるようなまちづくりをしていただければと思います。 恵庭駅中心、恵み野・島松は住宅地ということで、生産できるのは恵庭駅周辺だけなのではと思います。恵み野・島松は高齢化してきていて、特に恵み野西と南は年齢構成が高いです。世帯の入れ替わりが激しいと思います。どんなライフスタイルが描けるのか見えづらいと思います。 ●A委員 商店街の活性化だと思います。また、専門学校があり学生がいるので、若者は札幌に買い物しに行きますが、札幌に行かないとないものを恵庭に誘致して、札幌に行かなくても済むようにすれば。札幌に行かなくてはいけないという状況があるからその状況を少しずつ埋めていくことが大事だと思います。 ●事務局 今はインターネットショッピングに変わってきていまして、インターネット社会ということを受け止めて、日用品はすぐ買いに行けるよと、特別なものは例えばネットショッピングや札幌で、ということもあるのかなと。日用品としてはドラッグストアやスーパーは充実しています。在宅ワークですとか多様な、新たな働き方が増えてきていて、そういったものに対応していく。議会からも同じ質問がありまして、多様なライフスタイルって何だろうねという話がありました。そこでは今と同じような話をしました。 ●副部会長 自衛隊の方で定年退職を迎えた方が、恵庭市に残りやすいシステムが大事だと思います。市内で退職後に飲食店を開いている方もいます。移住定住施策の役に立つかなと思います。 ●A委員 自衛隊は退職が早く、第二の人生を始めるということで、どこかに勤めますよね。起業者には助成金を出すとかすると増えるかもしれません。 ●事務局 そういった方には新規出店支援補助金などが既存でありますので、そうい
------	--

素案審議	うもので対応しています。他には新規出店支援補助金、起業家支援事業補助金などがあります。 移住・定住の定住というところと言うと、様々な施策を組み合わせなければなかなか定住につながっていかないのかなと。暮らしやすくだとか高齢になっても暮らしやすくだとか様々な部分でいうと結局、定住施策ってなんだろうねという話がありました。色々な事業の複合体が定住施策なんだよねというところになっています。A委員がおっしゃったように、スーパーだとかも決まったところというのがありますが、恵庭は「うおはん」や生鮮市場、フード D、生協、様々なスーパーがありますので、その中で暮らしやすいと思えるのもあると思っています。 恵庭ではごみの戸別収集を行っていますが、理由の一つに恵庭の土地が平坦なまちだからということがあります。ごみ収集に関する町内会のトラブルもなく、ごみの戸別収集は市民意識調査でも暮らしやすいという意見が寄せられています。
	●副部長 歩いて暮らせるまちづくりは全国的にウォーカブルタウンと言って、歩いて快適なまちづくりをしましょうといった我が国の一つの流れになっています。恵庭市では要所要所にベンチを設置していますが、グリーンベルトの花壇にもベンチを設置されて、それも歩いて暮らせるまちづくりには重要なことだと思います。スポットパークやポケットパークになるような空間があると思いますが、そういったところにベンチがあるのとないのとでは全然違うと思います。6-4 の「魅力ある景観や市街地の形成」について、景観法が施行されて、全国で景観行政団体があって景観計画を作っていますが、北海道は遅れています。宮崎県ではほとんどの自治体が計画を作っています。恵庭市では景観形成計画を立ていますが、そろそろ検討の時期にあると思います。いい景観づくりは市民が誇りを持ち、観光客を増やすことにもつながると思います。景観法に基づく景観計画があってもいいと思います。
	●事務局 恵庭市では、恵み野商店街 100 年街並み協議会などの動きがあります。
	●副部長 新しい都市計画マスタープランは、千歳のラピダスと北広島のエスコンフィールドの受け皿としての恵庭を考え、新しい住宅系は島松に、特に島松と恵み野の用途地域系のところを埋めていきたいというような形ですね。工業はテクノパークのところの拡張、商業エリアは 36 号線の農地の部分ですね。市街化区域の拡張は厳しく、少なくとも人口減少地域は認められないようです。

素案審議	●A委員 北海道バレー構想で、石狩に半導体関係が来るとなれば変わってくると思います。
	●副部長 コンパクトシティは全国的なものです。人口減少、少子高齢化社会でみんなが集住しないと非常に非効率になります。分散して住むと公共予算がかかってしまいます。
	●A委員 駅を中心としてどれくらいの距離をコンパクトと言うのでしょうか。
	●事務局 1 から 2 km です。
	●副部長 恵庭市は他市と比べてコンパクトだと思います。駅中心に都市機能誘導区域というのを作ります。コンパクトシティを担保する計画が立地適正化計画です。都市機能誘導区域の周りに居住誘導区域を作ります。民間にとってメリットがあるのは、都市機能誘導区域に居住誘導区域を郊外からもつてくると、例えば保育所、商店、民間であっても国から補助が出ます。立地適正化計画がなければ国交省からの補助がありませんので、コンパクトシティ政策を進めていくためには立地適正化計画が必要です。携わった中では、郊外の小中学校が老朽化して、まちなかに移転する際に使うことが多かったです。郊外の農山村部でも住みやすい拠点、小さな拠点としてを作るとすればそれにも補助が出ます。恵庭には拠点を作る必要があるような地域はないと思いますが。 地域創造研究センターでは「文化」政策を進めていますが、そうしたときに歴史が大事だと思います。明治 19 年に和木町から、明治 20 年に萩市から 2 年間であわせて 120 世帯が入ってきました。歴史では漁川周辺に住んだとありますが、そのころどのような生活をしていたのか気になります、写真、地図、絵は残っているのでしょうか。そういうものを掘り起こすと面白いと思います。
	●事務局 今回の会議についてご案内します。今回の総合計画審議会は 7 月 9 日水曜日の 14 時から概ね 2 時間程度、市民会館中ホールで予定しています。部長におかれましては、6 月 16 日月曜日の 16 時から総合調整部会を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

閉会	●企画振興部次長 閉会のあいさつ
----	--------------------------------